

真田図書館サポーターだより 第17号

平成23年より8年間に渡り、図書館講座として継続してきました「家庭菜園の楽しみ方」講座が昨年10月をもって閉講となりました。講師である山宮君夫先生のお人柄や、分かり易い講義内容などから大変好評の講座でした。受講者からは、講座の閉講を惜しむ声が多数寄せられましたが、一区切りということで、講師の山宮先生からお言葉を頂きましたので、ご紹介致します。

家庭菜園真田講座8年を振り返って

家庭菜園アドバイザー 山宮君

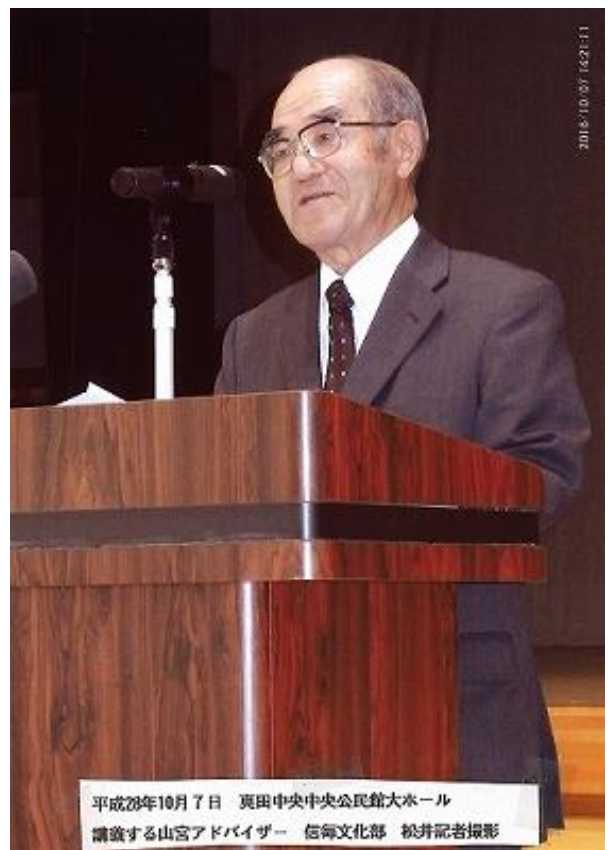
夫

私が提唱した言葉「地産地消(自ら生産し消費)」をすすめ、食べる野菜は自分で上手に、おいしい野菜を作るをモットーに、平成16年に出版した自著全国版「家庭菜園の楽しみ方」を教材として、17年からJA信州うえだ主催の菜園講座が春、夏、秋の3回、管内8会場で始まりました。

7年目の23年に、上田アグリ会で21年から毎月受講されていた真田図書館サポーターの運営部会長だった、中澤盛雄さんからJA信州うえだ主催の菜園講座を真田図書館多目的ホールで共催したい提案がありました。中澤運営部会長の熱意ある取組によって、受講生がかなり増加し80人ほどになって、多目的ルームが手狭となり、27年から真田中央公民館の大ホールをお借りすることとなりました。同年に真田アグリ会を設立し、中澤盛雄さんが会長に就任し、受講生を募集したところ、受講生数が146人、28年125人、29年113人、30年124人となり、JA信州うえだ管外の佐久方面、北信などからも受講され、この4年間上田有線テレビで放映されました。

真田開講後8年となったことから、昨年10月に閉講させていただきました。

8年間毎回、中澤会長のあいさつ、熱心な運営と受講生の出席率も大変よく、家庭菜園に強い関心を寄せ受講いただいたことに心から感謝します。



<真田中央公民館で講義をする

山宮君夫先生>

新たにサポーターになって頂いた小林恭子さんをご紹介します。業務部会員として、本の配架や整理、曝書、図書館まつりでの本のリサイクル市などに積極的にご参加頂いています。ご本人からサポーター活動などの感想を寄稿して頂きました。

真田図書館サポーターになって

図書館サポーター 小林 恭子

以前から「何か地域にお役にたたい」と思っておりましたが、何をしてもいいかと模索してありました。図書館には、色々な方々がサポーターとして活動されていると広報などで知り、「私にも何かお手伝いできるかもしれない」と職場を退職したのをきっかけに昨年8月より登録させて頂きました。

毎週、本の配架や二階の壁に飾る壁絵の制作に通うのが、とても楽しみです。趣味の本や好きな小説を借りて行く事も増えて、図書館がより身近になりました。真田塾や図書館内のコンサートにも出席させて頂いていますが、こんなに図書館サポーターが積極的に活動しているのは、他の市町村では、珍しいのではないかと思います。

昨年の12月には、初めての図書館まつりに参加し、本のリサイクル市をお手伝いさせて頂

きました。開催時間前から多くの方が、ドアの前に行列して待っておられ、関心の高さが伺われました。本の多さにも驚かされました。手作りのしおりをプレゼントしたところ、多くの方が喜んで持ち帰りされたと聞き、嬉しかったです。

これからも、もっと色々な事をお手伝いさせて頂きながら、図書館を盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願いします。



＜曝書のお手伝いをする
小林恭子さん(写真左)＞



真田図書館では、図書館や図書館の仕事を知ってもらい、サポーターとして活動して頂ける仲間を増やし、また、現在活動して

＜リサイクル市で賑わう様子＞

いる図書館サポーターの研修の場として、ボランティア養成講座を毎年2回開催しています。新人サポーターとして2回とも講座に参加して頂いた三井厚子さんに感想を寄せて頂きました。

真田図書館ボランティア講座を体験して

図書館サポーター 三井厚子

2回に渡り、ボランティア養成講座を受講しました。図書館の役割やボランティアの心得等の他、ブックカバー掛け、本の修理、そして配架作業も体験させていただき、スタッフの皆さんの親切な指導の下、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

私達の図書館を居心地の良い場所とするため、職員の方やサポーターの皆さんの工夫や努力を感じる事が出来た養成講座でした。



＜1回目のボランティア講座：講師の説明を熱心に聞いている三井厚子さん（写真最左）＞

＜2回目のボランティア講座：本のカバー掛けをする様子＞



第5回真田塾 和根崎剛さんの講演の今後の展開はいかに？

「上田城に真田昌幸が造った石垣は残っているか？」

運営部会長 中沢 盛雄

上田城の築城は、観光チランを始めとして歴史書にしても、1583年(天正11年)に真田昌幸が工事に着手したと公示されています。

ところが、歴史学会や識者の中でも上田城築城については、一致していない現状があります。ましてのこと真田昌幸時代の遺構(古い建物の残存するもの)がないという状況もあります。この現状から上田城についての調査研究が望まれている今日、2007年度から上田城跡整備事業を担当し、発掘調査を行ってこられた上田市教育委員会の文化財保護担当係長和根崎剛さんを講師にお迎えしての講演は大きな関心と呼ぶものとなりました。

これから上田城について調査研究が行われていく事になりますが、進展状況によっては、上田城に関する新事実が表れたり、新たな展開が出現するなど、胸にときめきを覚える事態があるかも知れません。

太郎山に多くの石切丁場が存在

和根崎さんのお話は、太郎山には多くの石材があり、また採掘した石を必要寸法に裁断する「石切丁場(石を裁断、工作する場所の意)」がどこに存在するか、また、裁断された石はどこに使われるかの調査に取り組まれたものでした。この調査によって判明したのは、8ヶ所の石切丁場があり、一番標高が高いのは810mにある「表山道十二丁石の丁場跡」山口集落の上方に位置するものでした。標高の低いところは、510mの「虚空蔵堂丁場跡」とか、「上塩尻大沢丁場跡」でした。いずれも集落到離れていない石切丁場が判明したものです。

上田城は徳川により破却の運命に

石切丁場で使用される道具は主に「矢」と名称される鉄のみで、一定の長さに「矢」で穴を開



けて割りを入れて裁断します。今でも岩に「矢」で穴開けしたものが残っています。これが山の各所にあるので石切丁場が判明することになります。この矢穴の型式から、年代判別がわかり、真田昌幸時代の矢穴痕は見つかっていないとのことでした。上田城は真田昌幸、幸村の限りない智謀知略によって勝利を遂げ、天下に名声を博しましたが、しかし、関ヶ原に合戦

講演中の和根崎講師

後、1601年(慶長6年)徳川軍により上田城は破却されてしまいました。従って現在の上田城は仙石忠政の築城によるものです。

これから和根崎さんが調査する事項

矢穴列跡(石にほりつけた矢穴の痕跡のこと)から判明するか？上田城の石垣の時代

①安山岩の野面積み(自然石を積み上げた石垣)

石垣の隅石(石垣の角の部分の部分を算木積み【長辺と短辺の石をたがいちがい積み込んだもの】)で太郎山で採掘した緑色凝灰岩で積み増した部分

②櫓台石垣

矢穴痕の大きさ等から元和(1614年)～寛永(1623年)期の隅石

③尼ヶ淵の崖下の石垣→享保年間に築造した石垣

この調査によっては、真田昌幸が上田城築城に際し、石垣を築いたのか、否かが判明するかも知れません。まさに石は歴史を語り、歴史をつくるのです。和根崎さんの次回講演に期待しましょう。



講師に御礼のご挨拶をする中沢部会長

<図書館にできること> part11

やすらぎの図書館と『常連さん』

図書館司書 小暮由夏

2019年11月19日は、真田図書館の9歳の誕生日です。来年2020年は歴史的な東京オリンピックの年。そして、真田図書館も10歳になります。光陰矢の如し。感慨無量です。図書館サポーターのみなさんと手と手をつなぎ歩んだ年月です。感謝の気持ちでいっぱいです。

「図書館ボランティア養成講座」ではいつも、「図書館を好きになり、図書館のファンになってください。」「それが、図書館サポーターへの一歩です。」と、お伝えしています。

図書館について知っていただき、どんな仕事をしているのか？どんな役割・目的で運営しているのかを理解し、図書館を大いに利用していただくことがまずは図書館の応援や支援につ

ながるからです。年に2回開催している「ボランティア養成講座」は、何度でもご参加ください。また、こんなことをやってほしいなどのご意見やご希望もお寄せください。新しいお仲間もお待ちしています。「できることをできるときに、楽しく無理なく！」がモットーです。

さて、『図書館の常連さん』毎日、休館日を除いてほしい図書館にご来館になり、2時間ほどゆっくり過ごしておいでの方。ここ数年そんな『常連さん』が何人かおいでです。とても楽しそうに図書館で過ごしておいでです。新聞を読んだり、本や図鑑を閲覧したり、お気に入りの席で過ごしておいでです。また、中学生のみなさんも大勢、学校の帰りや土曜日曜にお友達と利用してくれています。宿題をしたり、テスト勉強をしたり、好きな本をみたりして保護者の方のお迎えを待ってられます。安心して中学生がいられる場所でありたいと願ってこの図書館は開館しています。さまざまな世代の人たちが気持ちよく滞在できる「居場所」それが現在望まれている図書館の役割でもあります。ちいさなお子様をもつご家族やお歳を召した方が心穏やかに過ごすことができる場所「やすらぎの図書館」でありたいと考えています。

ひとつ、お願いがあります。図書館を利用される方どなたも気持ちよく過ごせるようにお互い思いやりの心でマナーを守ってご利用ください。今後とも『図書館の常連さん』をお待ちしています。



できごと

- ☆ 4月11日(木) サポーターの会企画委員会
- ☆ 4月20日(土) 4月おはなし広場(ちよちゃんのお部屋)
- ☆ 4月20日(土) 平成31年度サポーターの会定期総会

4月20(土)には「おはなし広場」と「定期総会」が開催されました。平成30年度の活動報告・収支決算、平成31年度の事業計画・収支予算などが承認されました。

行事予定

- ☆ 5月18日(土) 5月おはなし広場
(さなだの民話の読み聞かせ・美馬佳世さんのオカリナ演奏) 午前10時30分～

・・・編集後記・・・ JA信州うえだの共催のもと、真田図書館サポーターの会で取り組んだ「家庭菜園講座」は8年間という長期間に渡り継続してまいりましたが、昨年10月5日をもって閉講となりました。この講座の果たした役割は、極めて大きな成果を示したと言えます。月1回行う講座には、上小地域の他に軽井沢町、小諸市、佐久市、長野市からも真田中央公民館に120名～140名の方が毎回参加したのです。

講座の開催回数は、1年7回×8年＝56回開催され、よくぞこれだけ大勢の皆様にご参加頂いたものだと感謝の限りです。また、この講座を基点として荒廃農地の耕作に取り組まれ、栽培意欲の向上につながる事例もありました。このように図書館が果たしている役割は、農村文化の向上にもつながっているのです。

＜ 運営部会長 中沢盛雄 ＞